

### 3 いつ、どのように再編を行うのか

…短期（令和2～7年度）、中期（令和8～17年度）  
長期（令和18～27年度）に分割した時間軸上で実施時期を示し、いつ何を実行するのかを明確にします。

#### (1)計画（素案）の概要

##### 【対象施設】

普通会計公共施設 177施設 建物総延面積 237,238㎡

- ・民間建物借用施設(3施設)についても、あわせて将来のあり方を検討します。(借用施設 建物総延面積 1,642㎡)
- ・インフラ資産(道路・橋りょう等)、公営企業の施設(病院・水道・下水道)、建物延面積50㎡未満の施設は除きます。

◆ 縮減目標面積 48,000㎡ (令和27年度末で総延面積の約20%)

◆ 素案時の縮減面積 約19,500㎡ (令和27年度末で総延面積の約8%)

- ① 平成30年度末の縮減面積 6,159㎡  
28施設（勤労青少年ホーム等）の廃止と、9施設の新設
  - ② 令和2～27年度末の縮減面積 13,382㎡  
38施設（砺波図書館、高砂会館、出町児童センター等）の譲渡又は廃止  
1施設（新砺波図書館）の新設
  - ③ 令和2～27年度末のあり方検討面積 約21,300㎡  
33施設（幼稚園、保育所、地域体育館等）の検討
- } 約19,500㎡

※ このほか、小・中学校については、『子どもの発達を保障する環境を整える』という観点で方向性を時期未定の『あり方検討』とします。

#### (2)策定スケジュール

…今年度中の策定を目指し、下記のスケジュールで進める予定としています。

年	月	内容
令和元年(2019年)	7月	済 市民説明会(本説明会)の開催
		市民アンケートの実施
	9月	済 計画(素案)の公表
令和2年(2020年)	随時	副市長、部課長等による関係地区・団体への説明
	12月	計画(案)の公表
	1月	パブリックコメントの実施
	3月	砺波市公共施設再編計画 策定

随時、市民の方の意見を募集します。

### 4 まとめ

#### 子ども世代・孫世代のために、今何ができるか

本計画の最終年である2045年（令和27年）に、現役として社会を支えるのは、今の子どもたちや、その次の世代です。財政がより厳しくなることが予想される中、将来にわたって持続可能な公共サービスを提供し続けていくためには、公共施設の適正配置とあり方の見直しが、大変重要となります。

より良い砺波市を市民と一体となって創っていくため、ご理解とご協力をお願いいたします。



## 砺波市公共施設再編計画（素案）について



～公共施設再編の取組み～

砺波市では、将来にわたって持続可能な公共サービスの提供を目指し、「砺波市公共施設再編計画」を策定します。この計画は、平成28年策定の「砺波市公共施設等総合管理計画」の目標を達成するための実行計画であり、その背景、概要及び必要性について解説します。

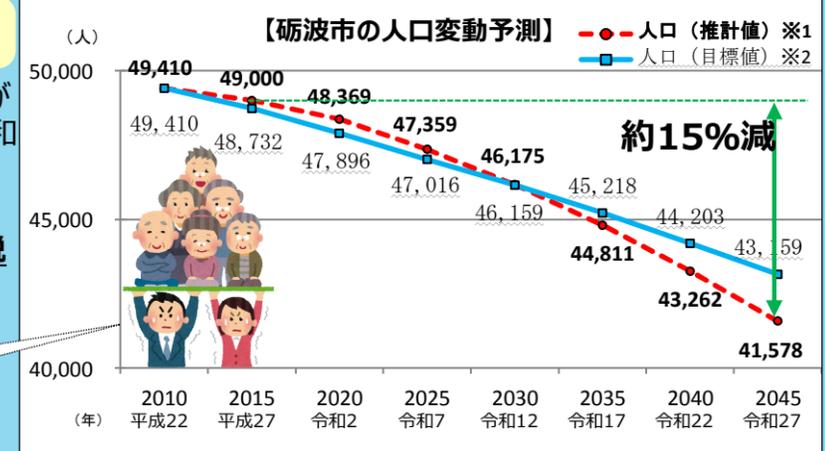
### 1 背景（なぜあり方を考える必要があるのか）

#### (1)人口減少・少子高齢化の進行

我が国は、今後さらに人口減少と少子高齢化が進行し、本市では、平成27年(2015年)から令和27年(2045年)までに、総人口の約15%が減少※と想定されています。人口減少により、**公共施設ニーズの変化や、税金の減少が予想されます。**

※1推計値：国立社会保障・人口問題研究所(H30.3.30公表)  
※2目標値：砺波市人口ビジョン(H27.10策定)

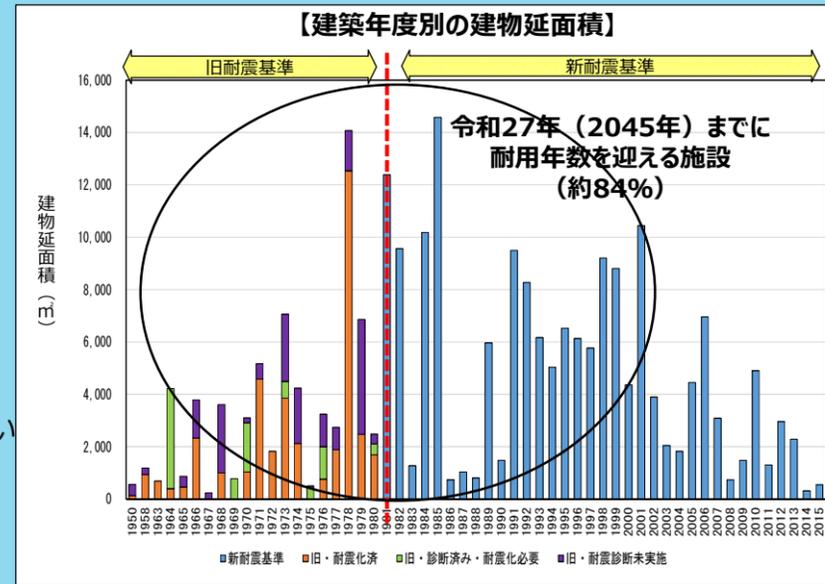
令和27年(2045年)には、日本の総人口の3人に1人以上が高齢者です。



#### (2)施設の老朽化の進行

今後、公共施設の老朽化も進行します。本市の公共施設のうち、令和27年(2045年)までの間に耐用年数を迎える施設は全体の約84%であり、**大規模改修又は建替えによる更新が必要となります。**

また、昭和56年(1981年)の建築基準法改正以前に建てられ、耐震化工事を行っていない施設については、現行の耐震基準に満たない可能性があります。

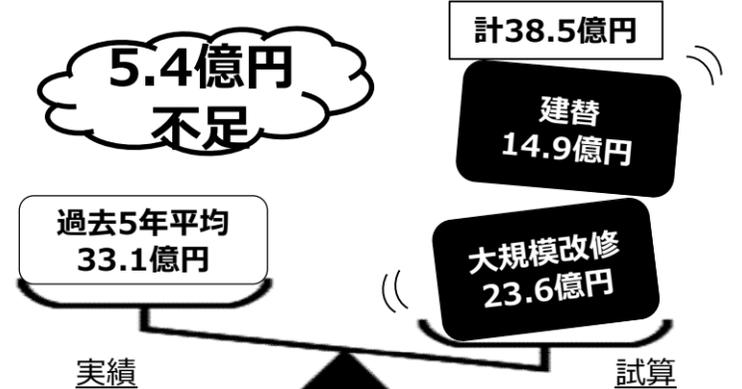


#### (3)財政状況

近年の砺波市の財政状況をベースとしたシミュレーションによると、公共施設等を耐用年数到来時に同規模で更新し続けた場合、実績と比較して、1年当たり**5.4億円が不足**するという試算結果となります。

財源不足によって適切なタイミングでの公共施設の改修や更新ができず、維持管理費用の増加も招きます。

#### 【1年当たりの建物更新費用の試算】



人口減少による税金の減少や、社会保障費の増加などにより、現状の公共施設を、そのまま維持・更新することは難しい。

# 将来の社会を見据え、公共施設の建物延面積を縮減する取組み（=公共施設の再編）を行います。

## 2 公共施設の再編とは

3つの計画等により、順序立てて取組みを推進します。

### (1) 砺波市公共施設等白書

H28.3  
策定済

- 目的1 公共施設等の全体像の把握
- 目的2 課題の整理

- ・面積割合の高い分類
  - 学校教育系施設 (37.7%)
  - スポーツ・レクリエーション系施設 (13.9%)
  - 公営住宅等 (13.1%)

【公共施設等の課題】

- ①人口減によるニーズ変化 ②施設の老朽化
- ③施設更新需要の拡大 ④施設の重複・分散配置
- ⑤財源の不足

砺波市の概要

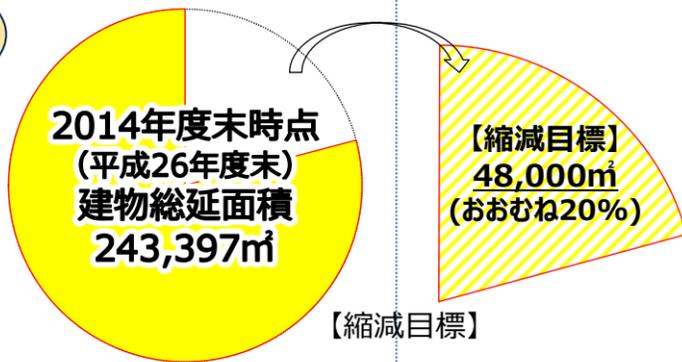
- ・人口 48,509人
  - ・世帯数 16,970世帯
  - ・面積 127.03km<sup>2</sup>
  - ・平成16年に合併により誕生
  - ・富山県西部の交通の要衝
- (H31.3.31時点)

### (2) 砺波市公共施設等総合管理計画

H28.11  
策定済

⇒ 砺波市公共施設等白書（H28.3策定）を基礎資料として、具体的な公共施設マネジメントを行うための目標及び方針を定めました。

- 目的1 持続可能な公共サービスの提供
- 目的2 中長期的な視点での計画的な公共施設管理



【縮減目標面積】 建物総延面積のおおむね20%  
48,000㎡

【計画期間】 30年間  
2016年度～2045年度 (平成28年度～令和27年度)

・基本方針  
公共施設の縮減、複合化の検討、既存施設の活用、全庁的な観点での意思決定、地域経営を意識した運営、必要に応じた個別実施計画の策定

### (3) 砺波市公共施設再編計画

今年度  
策定予定

⇒ 砺波市公共施設等総合管理計画（H28.11策定）の下位計画として、各施設の方向性を定めます。

- 目的1 砺波市公共施設等総合管理計画の目標達成
- 目的2 各施設の具体的な方向性の決定

基本方針

#### 総量の削減

建物の譲渡や転用及び除却の推進

#### 機能の統合・複合化

機能の集約による維持管理費の節減

#### 運営の適正化

運営の改善によるコストダウン

#### 【総合管理計画の目標】

- ・持続可能な行政サービスの提供
- ・建物延面積の縮減

基本姿勢

今すぐ公共施設をなくす計画

上位計画の期間（30年間）を見据え、  
中長期的な視点から  
公共施設のあり方を考える計画

【各施設の具体的な方向性】  
場当たりの対処ではなく、  
いつ、どのような方向性で各施設を  
管理・運営していくか計画するもの。

#### ① 施設評価と計画策定

…各施設について、段階に分けた評価を行った上で、素案から案を策定しパブリックコメントを反映させ最終的な計画とします。

一次評価  
(定性的評価)  
施設の分類・仕分け

どんな施設か？

二次評価  
(定量的評価)  
施設を客観的に評価

有用な施設か？

総合評価  
施設の特性、地域性、  
市民の意見等を踏まえた評価

総合的な観点では？

3月

計画完成

12月

計画(案)

9月

計画(素案)

パブリックコメント

地区等からの意見

#### ② 方向性の分類

…各施設の機能と建物の2つの面について、4つの方向性のうちいずれかを定めます。

機能(ソフト)

建物(ハード)

継続

譲渡

廃止

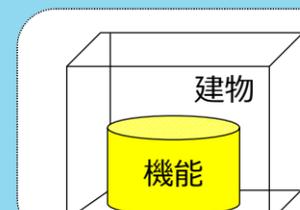
あり方検討

現状維持、改修、  
建替え、転用、  
統合、複合など

建物の有償又は  
無償での譲渡

機能又は建物の  
廃止

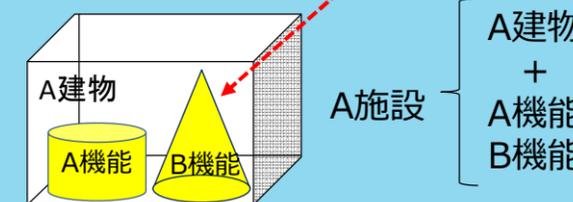
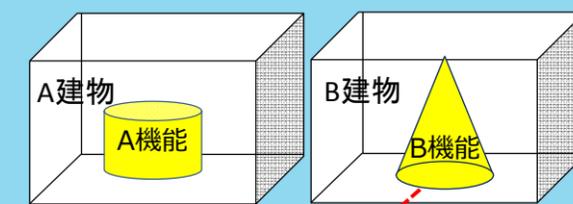
今後の方向性を見  
定めるにあたって、  
あり方を検討



施設の考え方  
施設 = 建物 + 機能

#### ③ 建物の活用例

・複合化…同一の建物に、異なる複数の機能を果たせること。



※B建物は、譲渡等の有効活用を図ります。